2017年12月期
第３四半期決算説明会

GMO TECH

東証マザーズ<6026>

2017年11月2日

１．結論と要約
２．第３四半期決算概要
３．セグメント別概況と展望
　　① アドテク事業
　　② O2O事業
４．総括

決算サマリ

ストック型商材への移行が進む。
減収ながらも利益率の高い自社商材へシフトし増益。

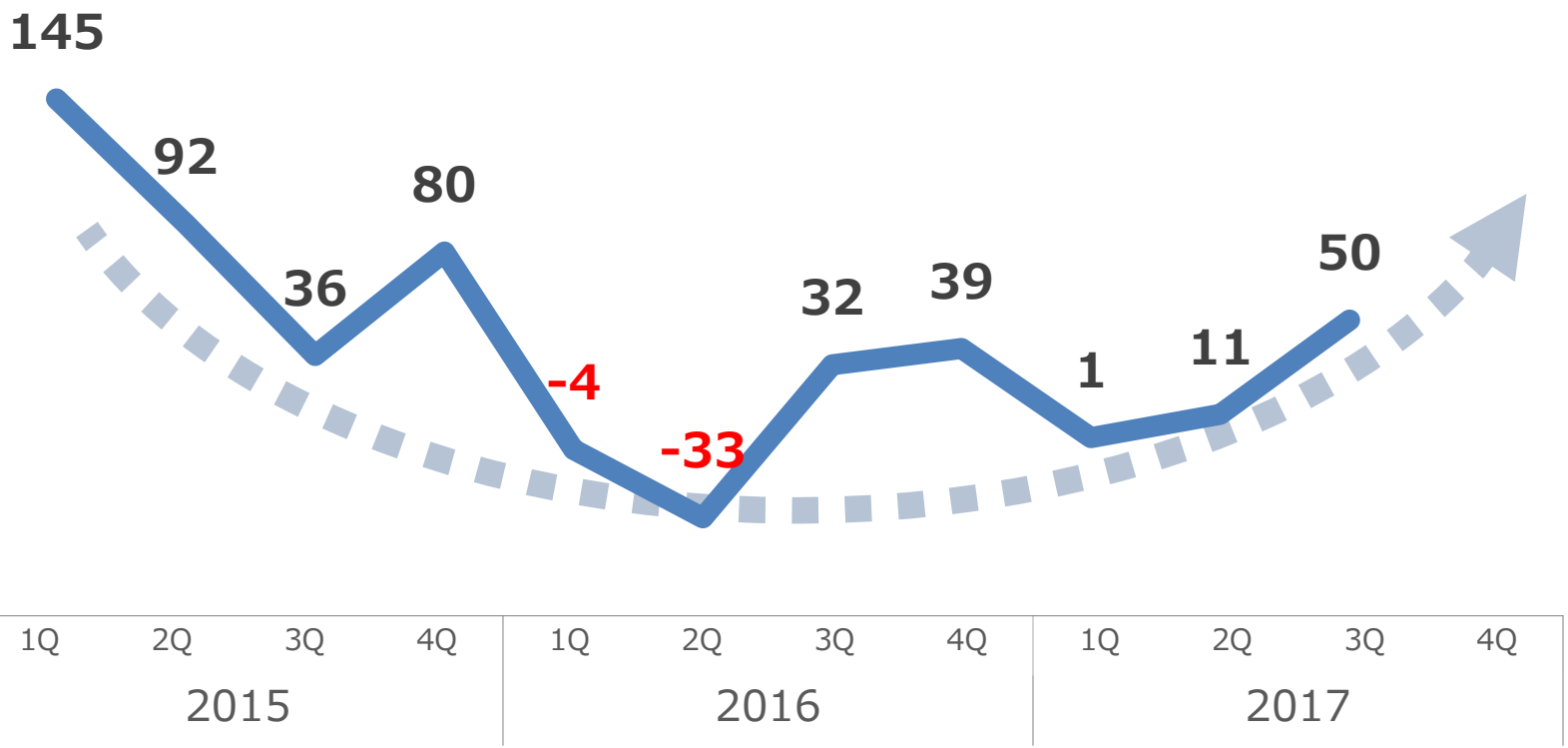
単位：百万円	2016年 1-9月	2017年 1-9月	対前年
売上高	2,225	2,086	-139
営業利益	-6	63	+69
経常利益	-8	64	+72
当期純利益	-27	39	+66

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

全社営業利益の推移

第３四半期はストック型商材への移行に加えて
大型案件の受注もあり改善。

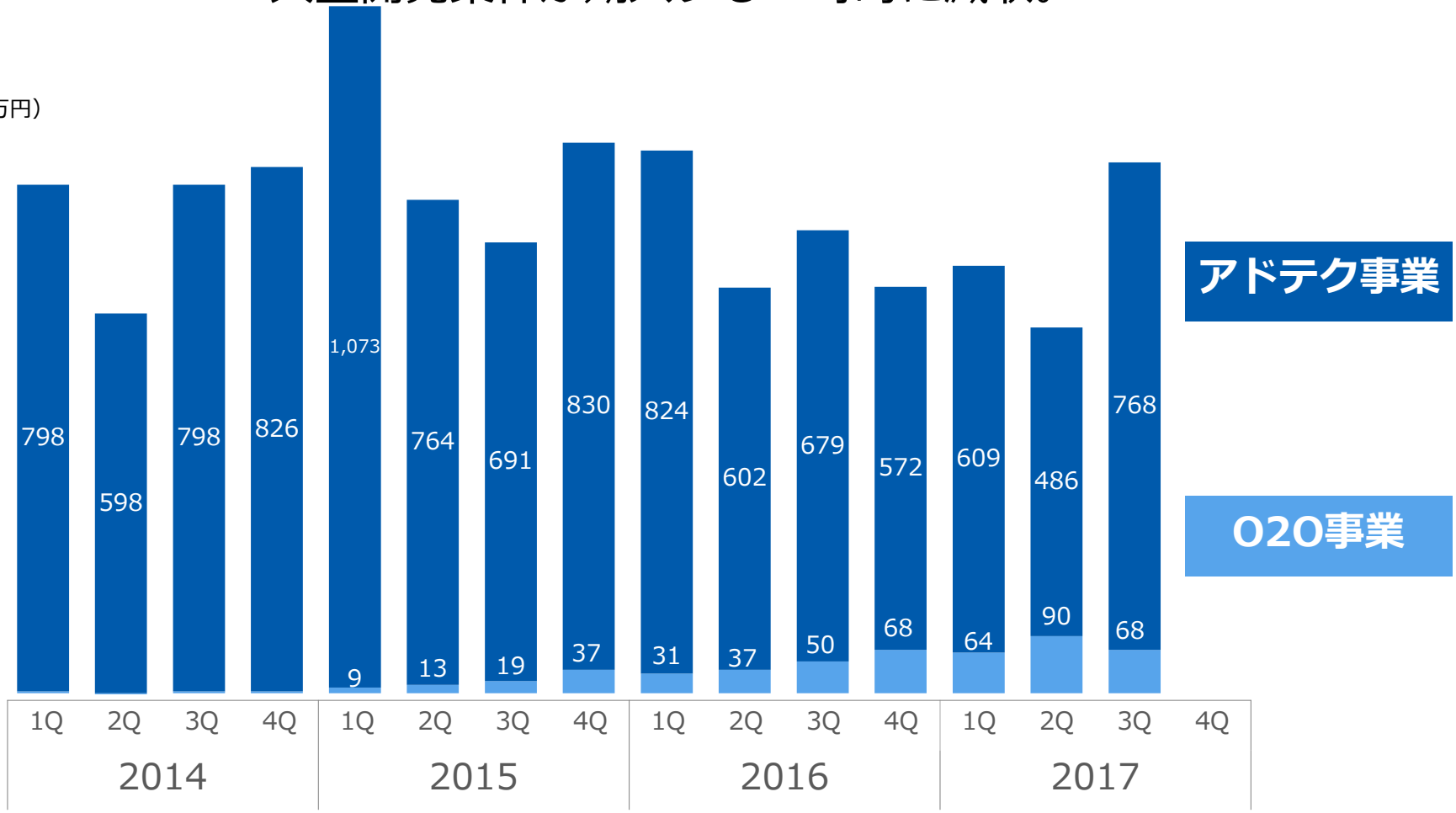
（百万円）



セグメント別売上

アドテク事業は売上回復基調。
O2O事業はストックが着実に積まれるものの
大型開発案件が期ズレし一時的に減収。

（単位：百万円）

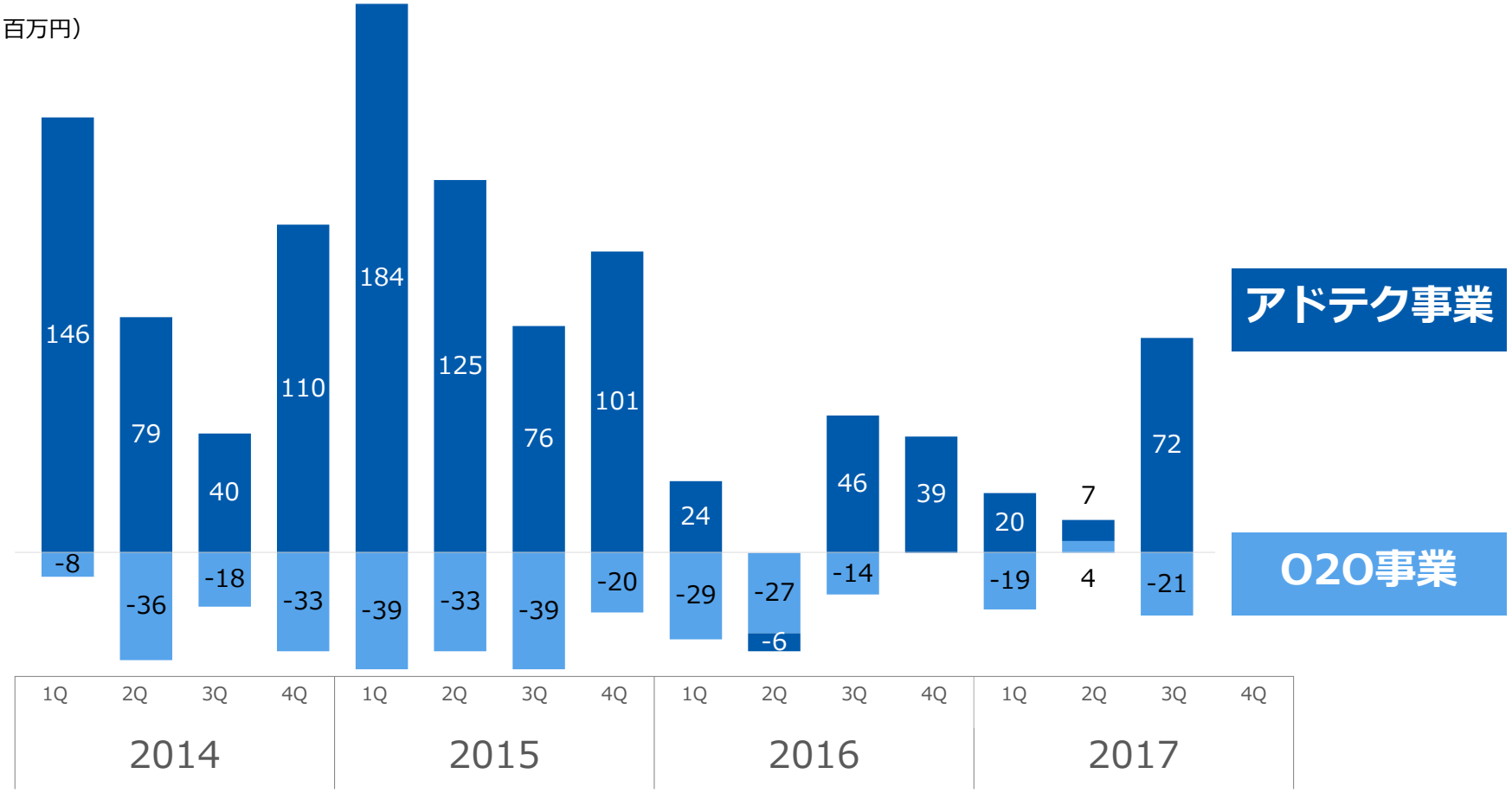


日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別営業利益

アドテク事業はストック商材への移行が進む。
O2O事業は大型案件受注による
開発費のPL先行化により第３四半期は一時的な減益。

（単位：百万円）



1．結論と要約

2．第３四半期決算概要

3．セグメント別概況と展望

① アドテク事業

② O2O事業

4．総括

業績予想に対する進捗

期初計画においても下期の利益成長を想定しており
通期業績予想の変更なし。

単位：百万円	通期業績予想	2017年1-9月	進捗率
売上高	3,000	2,086	69.6%
営業利益	110	63	57.7%
経常利益	108	64	59.5%
当期純利益	65	39	60.5%

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

貸借対照表サマリ

（単位：百万円）	2016年 12月末	2017年 9月末	増減
流動資産	1,090	1,285	194
（現金預金）	455	407	
固定資産	140	142	2
資産合計	1,231	1,428	197
流動負債	383	541	
固定負債	2	2	
負債合計	385	543	158
純資産	846	884	38
自己資本 （うち利益剰余金） （自己資本比率）	846(401) 68.7%	884(440) 61.9%	
負債純資産合計	1,231	1,428	197

日本を代表する総合インターネットグループへ

損益計算書サマリ

（単位：百万円）	2016年1-9月	2017年1-9月	業績予想	前期比
売上高	2,225	2,086	3,000	-6.25%
売上原価	1,754	1,566		
売上総利益	471	519		
販売管理費	477	456		
営業利益	-6	63	110	–
営業利益率	–	3.04%		
営業外収益	1	1		
営業外費用	3	0		
経常利益	-8	64	108	–
特別損益	-12	0		
法人税等	6	24		
当期純利益	-27	39	65	–

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

1．結論と要約

2．第３四半期決算概要

3．セグメント別概況と展望

① アドテク事業

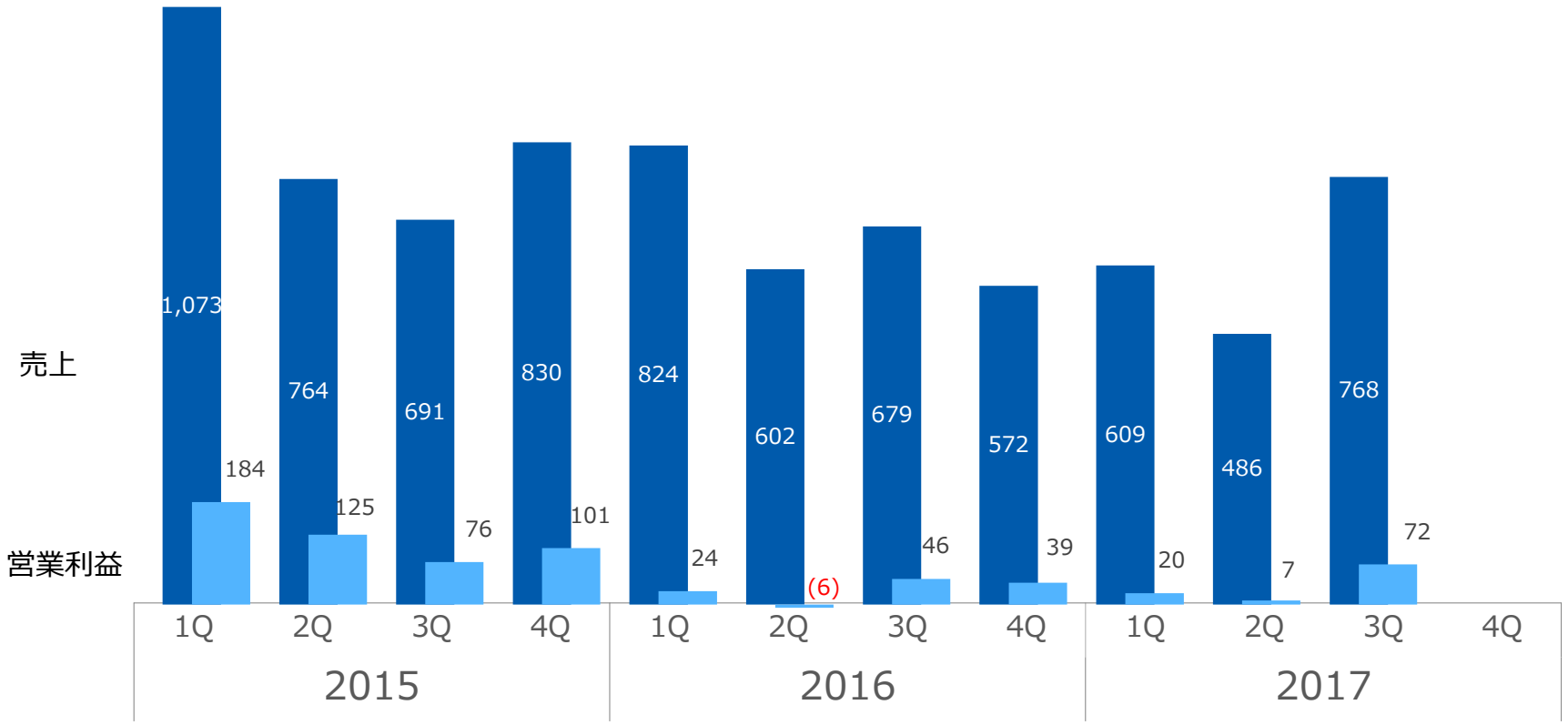
② O2O事業

4．総括

アドテク事業の概況

2017年上期はアプリ広告の減少で対前期比で下回ったが、第３四半期は、売上・利益とも前期比プラス。

（単位：百万円）



日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

アドテク事業 営業利益 四半期比較

2016年度営業利益 1.03億円に対し、

2017年第３四半期時点の累計営業利益0.99億円。

第４四半期も引き続き収益拡大に邁進。

（単位：百万円）	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2016年	24	-6	46	39	103
2017年	20	7	72		99

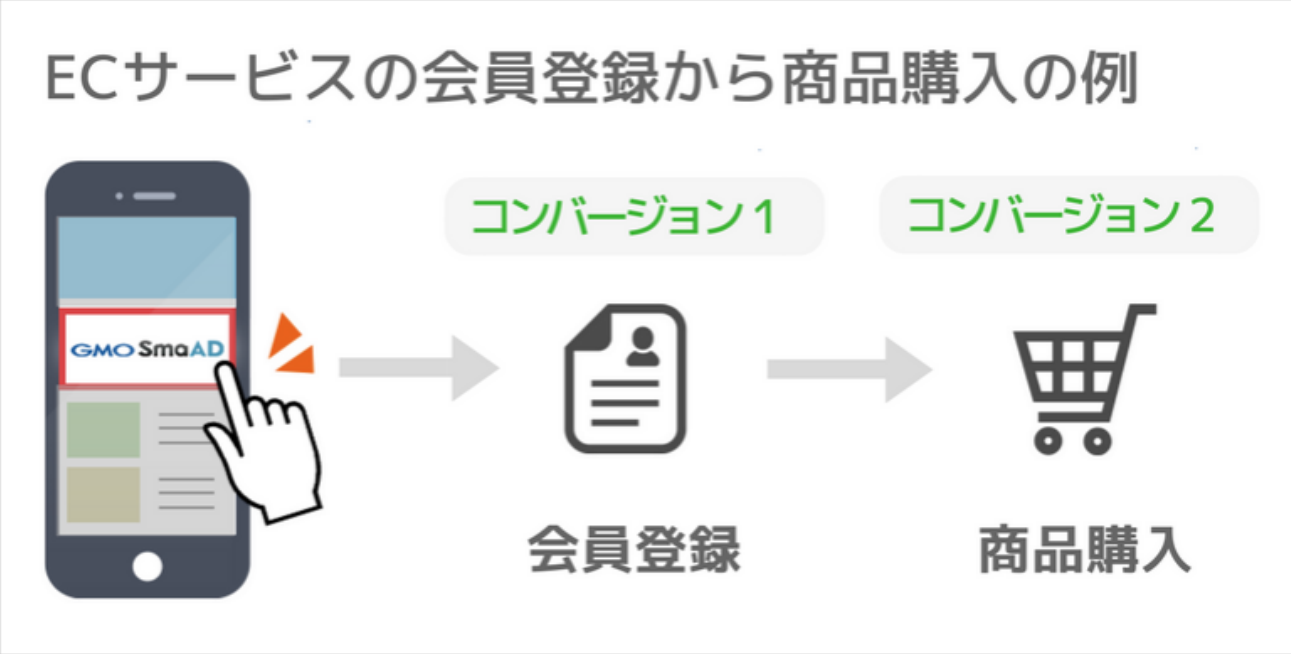
日本を代表する総合インターネットグループへ

アドテク事業 トピックス

2017年7月31日　アフィリエイトサービスで

複数地点かつ段階的な成果設定が可能に

▼段階的なコンバージョン

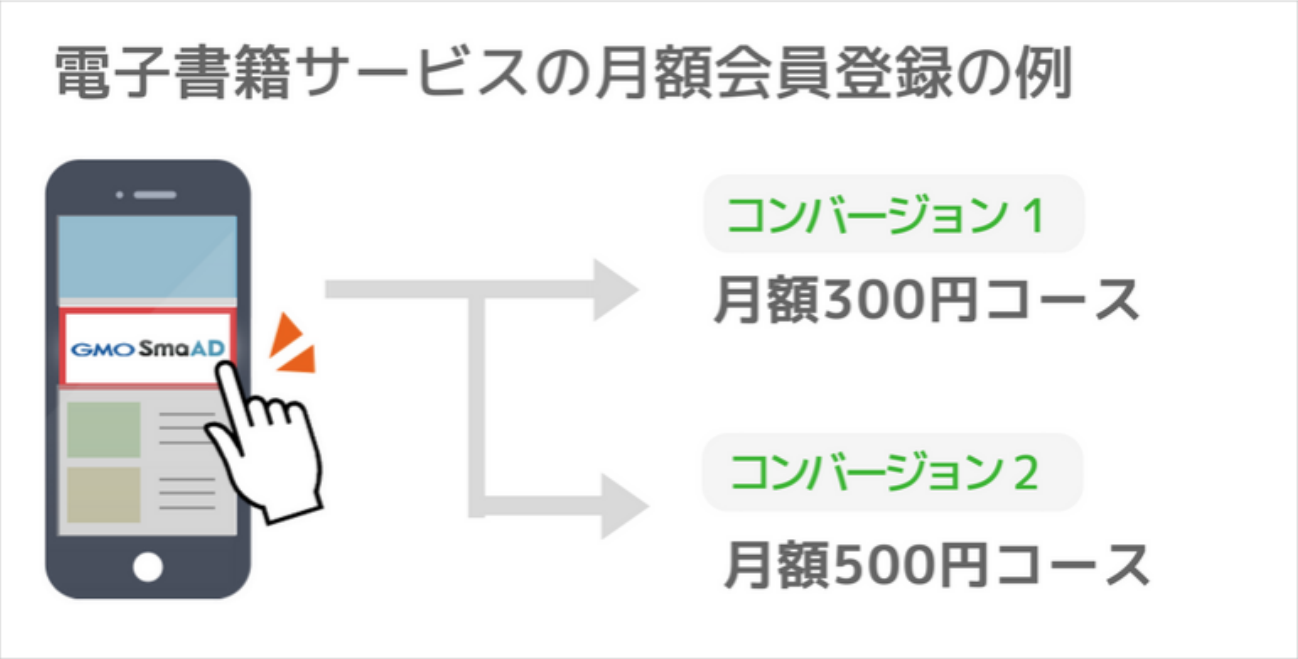


アドテク事業 トピックス

2017年7月31日　アフィリエイトサービスで

複数地点かつ段階的な成果設定が可能に

▼複数のコンバージョン



アドテク事業の下期注力テーマ

アフィリエイト広告の媒体力強化と売上拡大

・効果改善に向けた媒体管理体制の強化

・地方拠点育成で運用体制を強化

検索エンジン対策周りの販売・運用体制強化

・営業人員増員による売上拡大

・地方拠点育成で生産体制を強化

日本を代表する総合インターネットグループへ

アドテク事業の展望

高利益体制の追及と、トップライン拡大

①営業の増員・体制構築による売上拡大

②製造・運用地方化によるコスト最適化

③順調な運用型広告は引き続き販売強化

④SEOは自社販売体制による販売強化

日本を代表する総合インターネットグループへ

1．結論と要約

2．第３四半期決算概要

3．セグメント別概況と展望

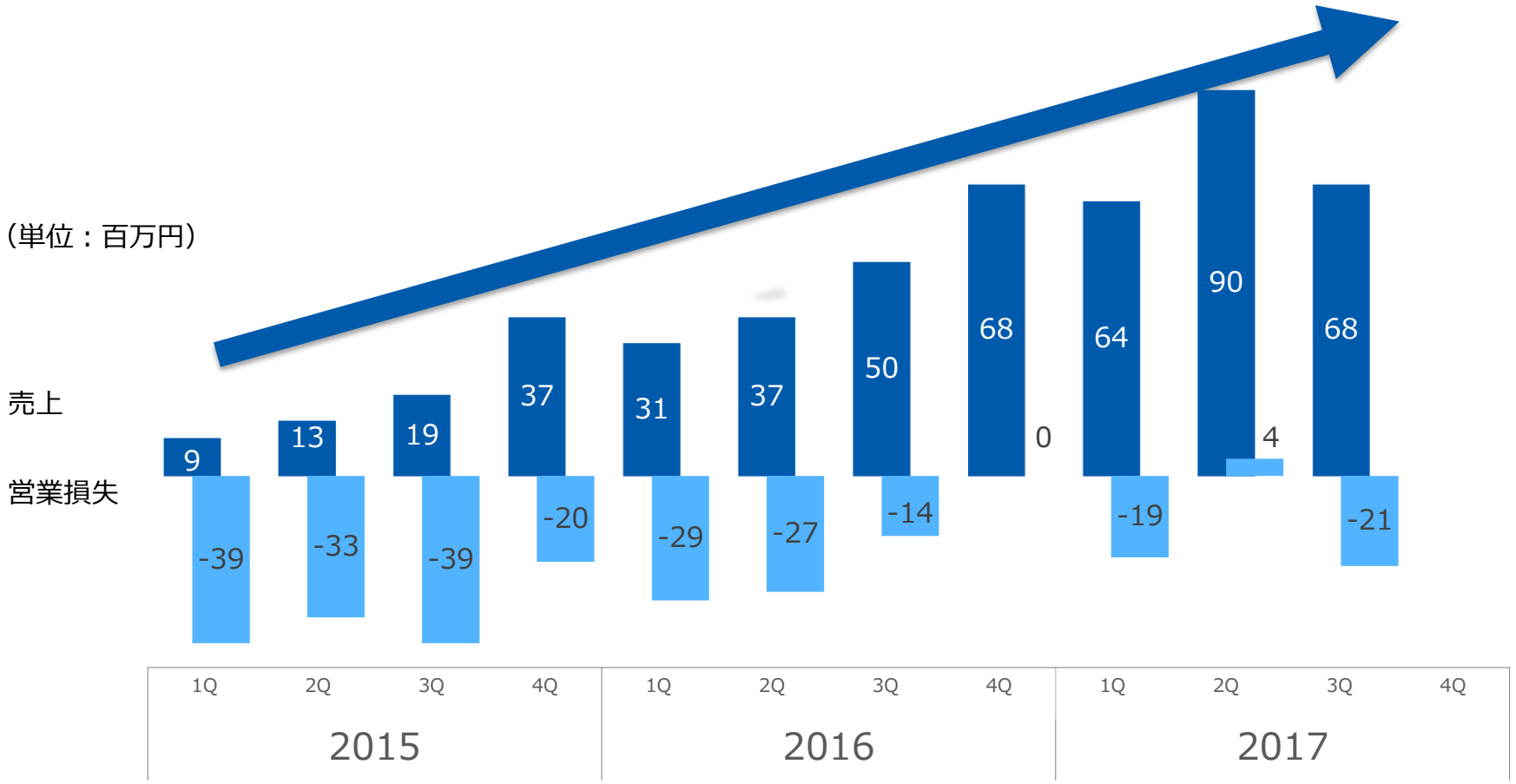
① アドテク事業

② O2O事業

4．総括

O2O事業の概況

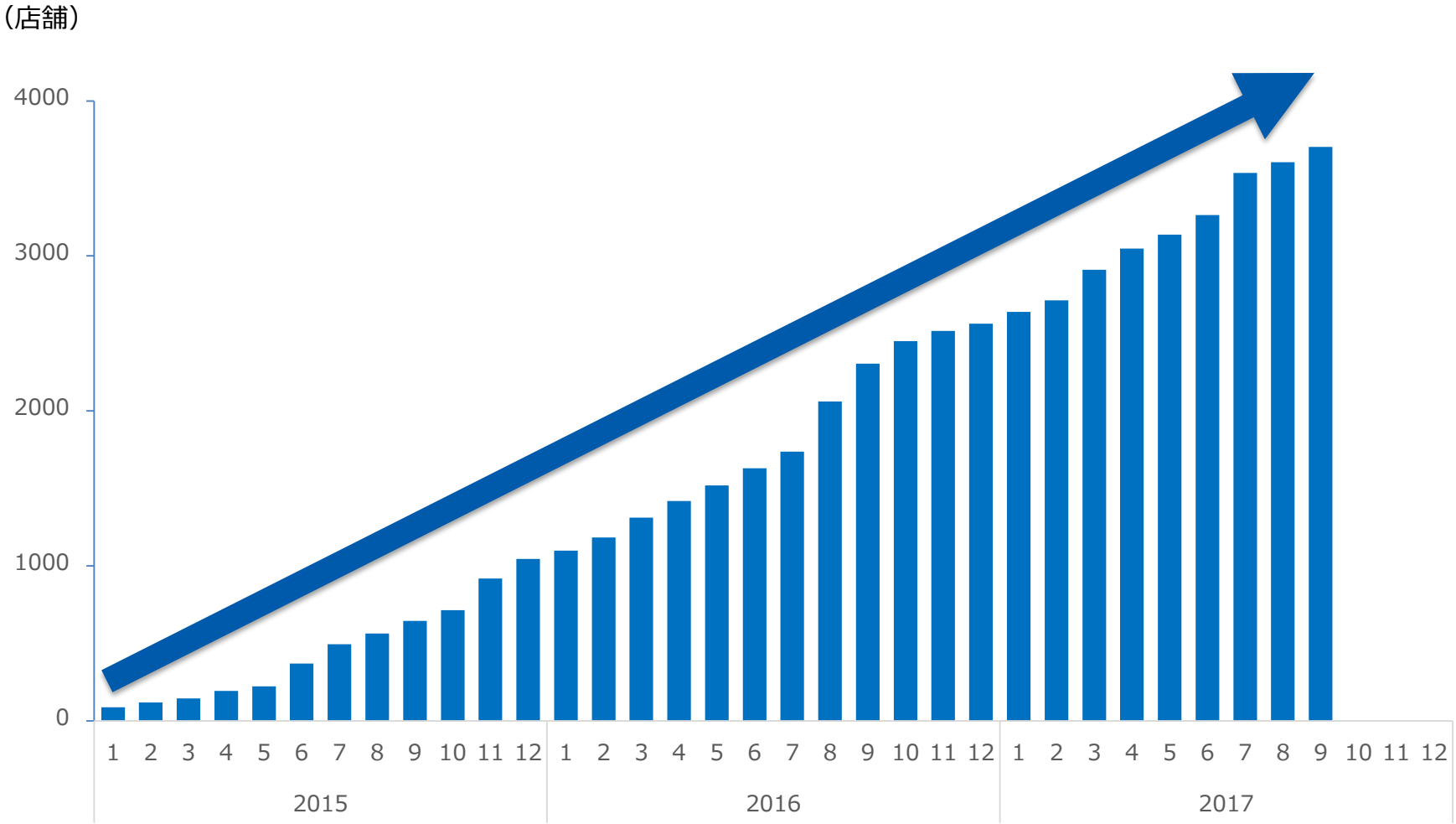
第３四半期は大型開発案件の期ズレにより減収減益。
第４四半期においてキャッチアップを行う。



日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

O2O事業の概況

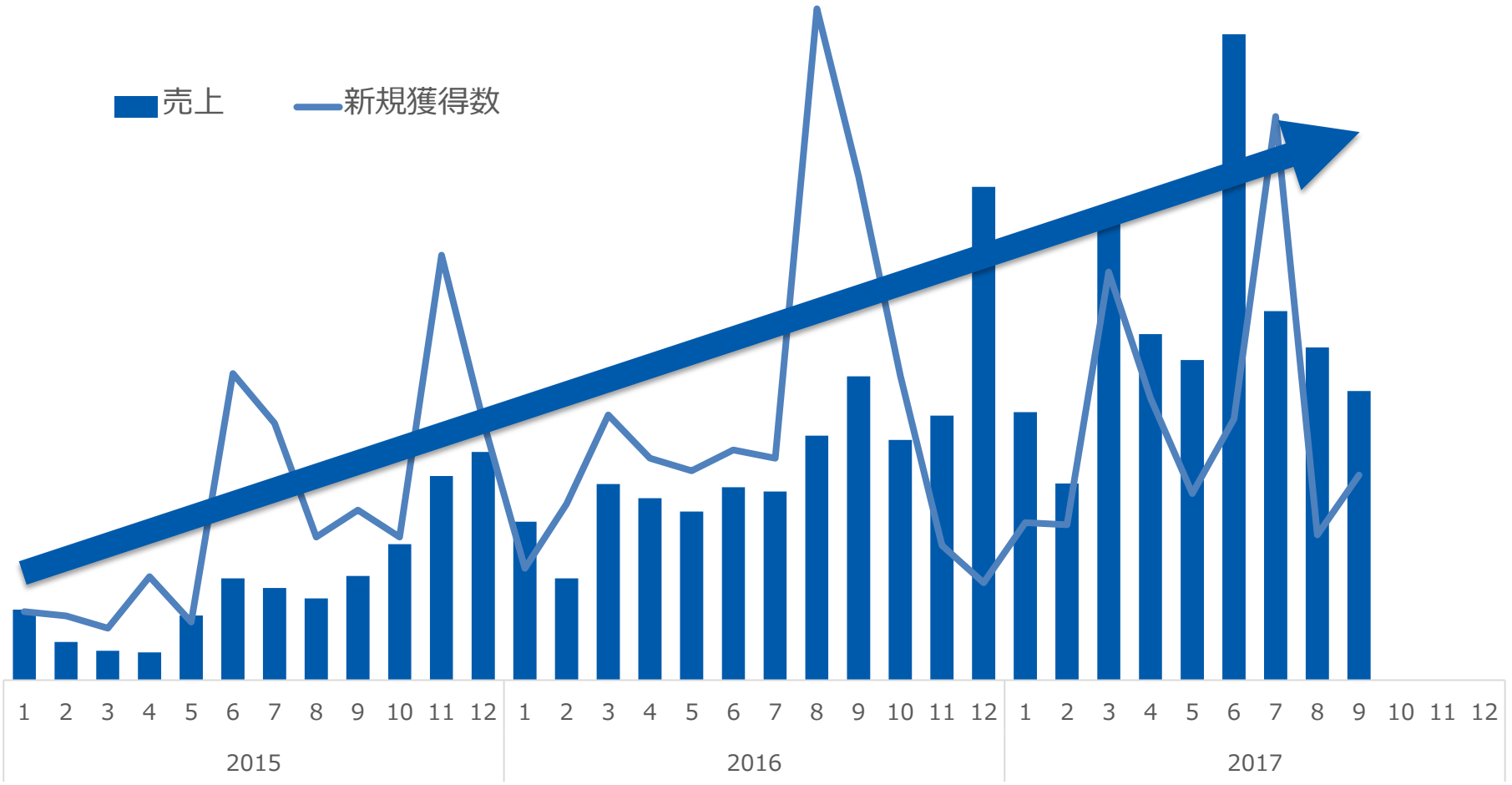
累計契約店舗数が3,700店舗を突破し順調に推移。



日本を代表する総合インターネットグループへ

O2O事業の概況

9月の開発案件期ズレを除くと順調に拡大傾向。



O2O事業の概況

2017年8月21日時点で累計300万ダウンロードを突破



O2O事業の概況

＜お客様導入事例＞
2017年8月　塚田農場　公式アプリ リリース

■デジタル名刺
■**来店回数に応じ役職が昇格**
■**スタッフ専用アプリでのお絵かき**
■動画背景画面
■ユーザーごとにおススメ情報配信





＜両OS用QRコード＞

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

O2O事業の概況

＜お客様導入事例＞
2017年8月　塚田農場　公式アプリ リリース

名刺デコレーション例



スタッフ向けアプリ タブレット対応



※日刊工業新聞より

O2O事業の概況

＜お客様導入事例＞
2017年10月相鉄フレッサイン公式アプリ リリース

- ■宿泊予約
- ■**スマホチェックイン**
- ■スタンプカード
- ■**スマホルームキー**
- ■ランクアップ制度
- ■クーポン配信

FRESA INN

iPhone版	Android版

O2O事業の概況

スマホチェックイン



スマホルームキー



1．結論と要約

2．第３四半期決算概要

3．セグメント別概況と展望

① アドテク事業

② O2O事業

4．総括

2018年に向けて

ショット型ビジネスから
ストック型ビジネスへの変革

- アフィリエイト
- SEM/SEO
- O2O

2018年に向けて

次に必要とされるサービスを創る

INNOVATIVE

少し未来に世の中に

必要とされるサービス開発を目指します。

2018年に向けて

変革するインターネット業界でスピードを重視

S P E E D

インターネットの時代は、

進化そしてスピードの時代。

スピードを重視した経営判断やチーム体制で

顧客企業に最高の価値を提供します。

本資料には、2017年10月30日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。
また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2017　GMO TECH, Inc. All Rights Reserved.